

ようこそ森を育てる会へ

始めに

そんなに遠くない昔、50年位前までは、人は森からの恵みを燃料や食糧として暮らしてきました。だから人は、森を手入れし、大切に守ってきたのです。実はこの手入れこそが、森の景観やそこに暮らす様々な生き物の棲家を守っていたのです。しかし今、私たちは森との付き合い方を忘れてしまいました。「森を育てる会」は、多様な生き物の暮らせる豊かな森づくりを目指して、油山自然観察の森のクヌギ・コナラ林（カブトムシの森 通称：カブ森）やアカマツ林を、守り・育てるボランティア活動をしています。

森を育てる会の歩み

平成4年度から3年間、福岡市油山自然観察の森で、福岡市による「カブトムシの森整備事業」という甲虫の誘致林整備が行われました。平成7年、整備事業終了後の維持管理方法の模索と、市民による里山管理の萌芽期という時代の流れから、油山自然観察の森が、クヌギ・コナラ林の保全活動を行うボランティアの募集を行いました。これが、「森を育てる会（略して：森会）」の始まりです。その後、森を育てる会は、油山自然観察センターの支援を受けつつも、ボランティアが中心となった活動を続けています。



森を育てる会ってこんな会

現在私たちは、森を守る作業を通じて自然を感じ、人と語り、自然について考え、たくさんの事を学んでいます。会員は、幼児～70才代までと幅広く、古くからの会員も、会に入ってまだ日の浅い会員も、みんな一緒に楽しく作業を行っています。無理して頑張る必要はありません。

あなたも出来ることから始めてみませんか？